

北陸新幹線全線開業を活かした 「小浜市新まちづくり構想」を策定しました

北陸新幹線全線開業のインパクトは、小浜・京都間の所要時間が19分で繋がることで劇的にアクセスが向上することです。このことは、本市が京都エリアなど関西圏の生活圏になり得ると考えています。

本市には、これまで人々が連綿とつないできた地域の自然・文化・食などを楽しみ味わうことのできる「スロー」な暮らしが息づいています。一方、北陸新幹線全線開業によって、沿線諸都市と物理的・精神的に近くなり、加えて進歩を続ける技術によって新しい価値やサービスが次々ともたらされます。「スロー」な暮らしに、北陸新幹線や先端技術をかきこくまちに取り入れた「スマート」な暮らしの実現によって、新たな小浜へと発展することができると考えており、本構想では目指す姿を「スマート&スローシティ」と掲げました。



目指す姿を実現するための基本的方向と将来の可能性を見据えた取り組み目標

- | | | |
|--------|---------|--|
| 基本的方向1 | 生活の質の向上 | 新幹線による生活の幅を活かし、安心できる環境と夢・希望・誇りを育むより良い暮らしの実現を目指します。 |
| 基本的方向2 | 移住定住の促進 | 都市とつながる自然や食文化が豊かな地域で地域と人の多様な関わり方を実現し、誰もが自分らしく暮らせるまちを目指します。 |
| 基本的方向3 | 交流人口の拡大 | 食・自然・日本遺産などの地域資源を研ぎあげ、日本海側の玄関口として世界の人を誘うまちを目指します。 |
| 基本的方向4 | 産業教育の振興 | 高速交通ネットワークと小浜固有の自然や文化を活かして世界や時代をリードする人や技術を育むまちを目指します。 |